

柳原銀行記念資料館 2015(平成27)年度企画展

戦前同和教育の源流と特別学級編成

ありま りょうじ
～ 写真展：有馬良治を巡る様々な人々～

戦前、崇仁小学校にペスタロッチ教育を採り入れた有馬良治。
写真は崇仁小学校校長室に長年飾られていたもの。

企画展示 **入場無料**

期間：3月2日(水)～3月31日(木)
時間：午前10時～午後4時30分
場所：柳原銀行記念資料館

※月曜日、火曜日、祝日は休館します。
また、2月26日(金)～2月28日(日)、
4月1日(金)、2日(土)は展示替えのため休館します。

記念シンポジウム「戦前同和教育の源流と特別学級編成」

入場無料

日時：3月11日(金)午後6時30分～午後8時30分(午後6時開場)

場所：下京いきいき市民活動センター3階集会室

第1部：講演「戦前同和教育の源流と特別学級編成」
山内政夫(NPO法人崇仁まちづくりの会理事)

第2部：ワークショップ「みんなで探そう、有馬良治を巡る様々な人々」

※来場された方全員に参加いただき、テーマについて話し合ってください。

定員：50人(先着順)



柳原銀行記念資料館

問合せ先：☎(075) 371-0295

開館時間：午前10時～午後4時30分

休館日：月曜日、火曜日、祝日

入館料：無料

交通機関：京都駅(JR、地下鉄)から徒歩約8分
市バス205系統、17系統「塩小路高倉」下車
※駐車場はありませんので、公共交通機関を御利用ください。

ホームページ：
京都市情報館(<http://www.city.kyoto.lg.jp>)から
「柳原銀行記念資料館」で検索

主催：京 都 市
NPO法人 崇仁まちづくりの会

同じです あなたとわたしの 大切さ
平成28年2月発行
京都市文化市民局くらし安全推進部人権文化推進課
京都市印刷物第275284号

この印刷物が不要になれば
「雑がみ」として古紙回収等へ！



柳原銀行記念資料館 2015(平成27)年度企画展

戦前同和教育の源流と特別学級編成

ありま りょうじ
～ 写真展：有馬良治を巡る様々な人々 ～

戦前の崇仁小学校は、「同和教育の源流」と言われる先進的な教育実践がなされていました。

大正9(1920)年10月に同校の第11代校長に就任した伊東茂光^{いとうしげみつ}は、教育環境の改善の傍ら、教員の人事刷新に努め、大正14(1925)年に、京都帝国大学文学部を卒業した有馬良治を代用教員として招き入れ、その後、「崇仁教育」と呼ばれる独特の教育を進めていきます。

有馬は、伊東の勧めにより、同僚教師に心理学の講話を行い、スイスの教育家ペスタロッチの実践から学ぶことを訴え、「崇仁教育」の思想の根幹となる、労作教育、特別学級、スポーツなどの教育方法を唱えました。こうした熱意は、地元の住民にも大きな影響を及ぼし、大正15(1926)年と昭和2(1927)年には、有馬の提案により、それぞれ、ペスタロッチ99年祭と同100年祭が催されています。

また、崇仁小学校では、児童の学力向上のために、知能検査に基づく能力別学級編成が開始されますが、その際、有馬は、学区の中で部落と障害という二重の差別に苦しむ知的障害児に目を向け、特別学級の編成を主張し、実行します。

伊東の下で精力的に活動していた有馬ですが、赴任後僅か2年余で病に倒れ、昭和5(1930)年1月17日に永眠します。

伊東は、有馬の死について、「有馬君は朝顔の花の様な短い純真な一生を終わった人である。」と語っています。

こうした史実は、これまで余り語られてきませんでした。最近、これらの史実を物語る多くの鮮明な写真が発見されました。中には、有馬を偲^{しの}んで校長室に長年飾られていたものもあり、有馬がいかに「崇仁教育」に影響を与えていたかが推察されます。

今回の企画展では、有馬や伊東の写真だけでなく、柳原銀行記念資料館が長年にわたり収集してきた、当時を物語る多くの写真の展示を通じて、「崇仁教育」が部落差別の撤廃だけでなく、障害児に対する教育にも心血を注いでいたことを振り返ってみたいと思います。

2016(平成28)年2月
京 都 市
NPO 法人 崇仁まちづくりの会